

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日 更新

事務事業名		合志市スポーツ推進委員配置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3 教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	11 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	山城 建也
	施策の柱	40 スポーツの啓発と参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10824	根拠法令	スポーツ基本法 合志市スポーツ推進委員に関する規則	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・スポーツ基本法に基づき配置、合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行ない理解を深める活動を行なうためにスポーツ推進委員を配置する。平成29年度時点で、27人を配置。 ・住民のスポーツ振興のために月に1度以上会議を行ない、各種スポーツ大会やウォークラリー大会等を企画立案し実施する。 ・各スポーツ推進委員のスキルアップと多くのスポーツ関係者が健康・運動に関する知識を得られるよう研修・講習会を開催する。 ・区やコミュニティ、老人会などが主催する様々なスポーツイベントにおいて、出前講座として、指導助言を行なうスポーツ推進委員を派遣する。 ・他市町村の取り組みと状況を学ぶとともに連携を深めるため、県スポーツ推進委員研修会や九州スポーツ推進委員研究大会に参加する。
【業務の流れ】	・会議の開催、研修・講習会の企画、出前講座の手配、費用弁償等の手配、スポーツ推進委員手帳等の消耗品の購入事務、スポーツ傷害保険加入事務、県スポーツ推進委員協議会への負担金支払い事務
【主な予算費目】	・報酬、旅費（費用弁償）、旅費（普通旅費）、消耗品費、役務費、負担金
【意見や要望】	・高齢者向けの講座の要請・健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え、スポーツ推進委員の手伝いが必要だという意見がある。 ・区やコミュニティから、スポーツ推進委員の出前講座で親切に分かりやすく指導いただいたという意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) ・月例会議の開催、出前講座等への派遣、ニュースポーツ体験会・スポーツフェスティバル・健康カントリーマラソン大会・ノルディックウォーキング体験会の企画運営。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼 ・熊本県スポーツ推進委員研究大会 ・熊本県女性スポーツ推進委員研修会・九州地区スポーツ推進委員研究大会・全国スポーツ推進委員研究協議会に参加予定 ・ニュースポーツ大会・スポーツフェスティバルなど市主催スポーツ振興事業への協力	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア スポーツ推進委員の出席(派遣)機会事業回数	回	スポーツ推進委員ユニフォーム費用の増、全国スポーツ推進委員研究協議会費用の増	
イ 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民数	人		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・合志市民		→ ア 合志市民	人
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・スポーツに親しんでいる		→ ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合	%
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 ・市民がスポーツに親しんでいるかどうかは、スポーツ大会にどれだけ参加しているかで推測するしかない。 また、市主催大会でなければその数は把握できない。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア回		66	44	75	31	75	75	75	0
	イ人		3,339	2,041	4,200	760	4,400	4,600	5,000	0
② 対象指標	ア人		60,008	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	0
	イ									
③ 成果指標	ア%		5.5	3.34	7	1.2	7.2	8	8	0
	イ									
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,560	2,464	3,070	2,389	4,238	2,249	2,249
	(A) 事業費計	千円	2,560	2,464	3,070	2,389	4,238	2,249	2,249	0
		(A)のうち指定経費	千円	983	979	1,175	1,038	1,149	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	0
		延べ業務時間	時間	378	328	120	1,132	120	120	0
		(B) 人件費計	千円	1,403	0	478	4,478	478	478	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,963	2,464	3,548	6,867	4,716	2,727	2,727	0

事務事業名	合志市スポーツ推進委員配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 市主催のスポーツ関係行事の参加者が目標に達していない。周知徹底に努める。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 参加募集の周知を強化する。目標値を現状に鑑み再設定する。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 住民へのスポーツ推進委員の知名度も広まり、派遣機会も増加してきているが、リピーターが多く更に啓発が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 健康づくり関係課と連携することにより向上が期待できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の出席にし事業費を削減しているが、事業の拡大を考慮すると増員も必要である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人数で行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域の代表であるスポーツ推進委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民はスポーツ推進委員を活用する機会が公平に与えられている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 スポーツ推進委員は教育委員会から委嘱するものなので、行政の役割となる。

3 評価結果の総括（CHECK）

スポーツ推進委員の認知度は上昇しており、各種大会の参加者は増加傾向で、派遣の依頼も増加している。
今後も健康の増進とスポーツの普及のために、大会や派遣請負の周知に力をいれ活動の場を広げていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策